

鶴ヶ島市立栄 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね良い評価であるが、保護者のニーズや地域の声を反映することに課題がある。</li> <li>・保護者や地域の考えを吸い上げる場の設定を工夫する必要がある。</li> <li>・人間形成を進める上で普遍的な教育目標がある。それを理解していただく。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標や経営方針を、4月当初の学級懇談会やPTA総会等で保護者に説明する。</li> <li>・様々な機会（授業参観・懇談会、家庭訪問、PTA活動、第三地区青少年健全育成協議会、学校協議会等）を活用して、情報の収集に努めていく。</li> <li>・学校公開時にアンケートを実施して意見を集約するとともに保護者や地域に公表する。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開日のアンケートを工夫し、保護者の意見を吸い上げ、集約する。その結果を次年度の教育方針等に生かしてほしい。</li> </ul>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>36%</td></tr> <tr><td>②</td><td>64%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	36%	②	64%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の①②の評価が昨年の87%から、今年度は95%に向上した。しかし、地域の割合が64%に留まっているのは大きな課題である。</li> <li>・地域に学校便りを回覧しているが、内容まで十分に伝わっていないことがわかる。地域の方と関わるあらゆる機会に、校長の経営方針を伝える努力が必要である。</li> </ul>
	評価項目	割合														
	①	36%														
	②	64%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	私は、学校教育目標を知っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>62%</td></tr> <tr><td>②</td><td>24%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>9%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	62%	②	24%	③	5%	④	9%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会で、教育目標や教育方針について話題にし、その達成状況について説明をしていく。</li> <li>・地域の方には、学校便りの紙面を工夫し、理解していただけるように努める。</li> <li>・学校の教育目標や経営方針を簡潔にまとめたグラウンドデザインに変更する。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	62%															
②	24%															
③	5%															
④	9%															
⑤	0%															
保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>36%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>1%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	59%	②	36%	③	4%	④	1%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標や教育方針については、様々な機会を捉え一層の情報発信をしてほしい。</li> <li>・地域の結果がやや低いのが、地域の住民は子育てが終わっているため、学校便り等積極的に読むことはないが、学校に対して関心が無いわけではない。安心して学校に任せているような面もある。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	59%															
②	36%															
③	4%															
④	1%															
⑤	0%															
地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>50%</td></tr> <tr><td>②</td><td>14%</td></tr> <tr><td>③</td><td>21%</td></tr> <tr><td>④</td><td>7%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>7%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	50%	②	14%	③	21%	④	7%	⑤	7%		
評価項目	割合															
①	50%															
②	14%															
③	21%															
④	7%															
⑤	7%															

鶴ヶ島市立

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>18%</td></tr> <tr><td>②</td><td>73%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	18%	②	73%	③	5%	④	0%	⑤	5%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導や話し合い活動を取り入れて、授業の工夫を行ってきたので、教職員の意識は高まってきた。しかし、児童の13%が、わかりやすく楽しい授業だと思っていない実態がある。</li> </ul>
	評価項目	割合														
	①	18%														
	②	73%														
③	5%															
④	0%															
⑤	5%															
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>41%</td></tr> <tr><td>②</td><td>46%</td></tr> <tr><td>③</td><td>10%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>3%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	41%	②	46%	③	10%	④	0%	⑤	3%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業の充実を図る。一時間ごとのねらいを明確にし、教材教具を有効に活用しながら、児童が「できた、わかった」という実感が持てる授業を展開する。</li> <li>・引き続き教師の授業力を高める研修を積む。</li> <li>・個に応じた指導、協同学習を進めるために、学年の教材研修を充実させる。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①	41%															
②	46%															
③	10%															
④	0%															
⑤	3%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査した時期によって児童の結果が違って来ることもあるのではないかと。</li> <li>・教師が研修や教材研究を重視し授業力を高める努力を継続してほしい。</li> </ul>													
地域																

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員は、自分の学級に焦点を当てているため、厳しい見方をしていると考えられる。教職員、児童の①②の合計が70%台でほぼ同じであることから、正しい現状認識ができていないのではないか。</li> <li>・③④の合計が保護者18%、地域7%という評価であった。この数字は、客観性があり、真摯に受け止める必要がある。</li> </ul>
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が学習規律の共通理解、共通実践を図る。そのために学年会や生徒指導部会で話し合い、組織的、継続的に指導に取り組んで行く。</li> <li>・授業の質を向上させ、児童を引きつける工夫をするため、学年教材研究を充実させる。</li> </ul>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度は学力向上のための重要な要素の一部である。授業を参観すると落ち着いた学習活動がみられる。</li> </ul>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
生徒指導・ 規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「そう思う」と評価した割合が、全対象において昨年度を上回っており、改善が見られる。</li> <li>・教職員、保護者に比べ、児童の評価が低いことが課題である。全ての児童に、先生はきちんと対応してくれるという実感を持たせる指導が必要である。</li> <li>・組織的な対応を図るため、教員の意識改革が必要である。</li> </ul>
	児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の不安や不満の声に耳を傾けるとともに、児童の些細な変化にも気づけるような細かな目配り、気配りをしていく。</li> <li>・保護者からの相談には迅速かつ誠実に対応するとともに、学校で個別に指導したことを丁寧に伝えていく。</li> <li>・子ども支援会議のあり方を改善し、全職員で智慧を出しあい、共通行動がとれるようにする。</li> </ul>
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の①そう思うが増加しているのので、教職員が丁寧な対応していることが推察される。</li> </ul>
	地域			<p>学校関係者評価委員会による評価</p>

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察												
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>59%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>41%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	59%	②	0%	③	41%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・保護者、地域からはおおむね良い評価をいただいているが、教職員は厳しい評価である。これは、教職員の意識の高さの結果でもある。規律ある態度のなかでも、特にあいさつ、学習準備、時間を守る、靴揃えに重点を置き、継続的に指導をしてきたが、十分とは言えない結果である。</p>
	評価項目	割合														
	①	59%														
	②	0%														
③	41%															
④	0%															
⑤	0%															
児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>33%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>47%</td></tr> <tr><td>④</td><td>15%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	33%	②	0%	③	47%	④	15%	⑤	5%	<p>課題解決への方策</p> <p>・教師が一貫した指導を継続する。 ・学校のきまりについては、きめ細かく繰り返し根気強く指導していく。 ・保護者や地域に、生徒指導上の課題や規律ある態度の達成状況を折に触れて知らせていく。(学校便り、学年便り、懇談会等)</p>	
評価項目	割合															
①	33%															
②	0%															
③	47%															
④	15%															
⑤	5%															
保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>29%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>65%</td></tr> <tr><td>④</td><td>7%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	29%	②	0%	③	65%	④	7%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・学校、保護者が共通の課題意識を持ち共に指導にあたるのが極めて重要である。学校側が現状や課題を保護者や地域に丁寧に伝える努力をしてほしい。</p>	
評価項目	割合															
①	29%															
②	0%															
③	65%															
④	7%															
⑤	0%															
地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>29%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>64%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>7%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	29%	②	0%	③	64%	④	0%	⑤	7%		
評価項目	割合															
①	29%															
②	0%															
③	64%															
④	0%															
⑤	7%															

鶴ヶ島市立

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と他の対象との意識に大きなギャップがある。</li> <li>・あいさつは最重点努力事項であったが、満足できる達成状況ではなかった。</li> <li>・家庭や地域ですすんであいさつしている児童の割合も少ない。</li> </ul>
	児童	私は、すすんであいさつをしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんであいさつすることの意味や意義について、繰り返し働きかける。</li> <li>・まずは、大人が手本を見せ、根気強く指導していく。</li> <li>・スクールガードや保護者にも協力していただき、登下校時のあいさつが自分からできるように働きかけていただく。</li> <li>・中学生にも参加してもらうなど、あいさつ運動の方法を工夫する。</li> </ul>
	保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来校時にあいさつをしてくれる児童が増えている。学校の指導だけでなく、周囲の大人の努力もある。指導を継続するとともに一層充実させてほしい。</li> </ul>
	地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。		

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
安全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の安全対策はスクールガード、保護者の協力によるところが大きい。児童の結果が思わしくないのは、頻発する不審者情報の影響もあるのではないかと考える。</li> </ul>
	児童	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や不審者対策について、児童に具体的な行動を示し、適切な対応がとれるように指導していく。</li> <li>・緊急時の対応を明確にし、情報が迅速かつ正確に伝わるようにする。事前通知、緊急連絡網、ホームページ等を有効に活用する。</li> <li>・登下校時の見守り指導をより一層充実させる。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度、長期休業明けに職員による登校指導を設定したのは評価できる。</li> <li>・引き続き学年下校の取組を継続し、1人で下校することのないようにしてほしい。</li> <li>・下校時の見守り協力を保護者に引き続きお願いしていく。</li> <li>・市の下校時の放送を改善するように学校として依頼してほしい。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員、保護者の評価が昨年度に比べて向上している。ホームページをリニューアルし、頻繁に更新して学校の様子を伝えることができていることがその理由の一つである。</li> <li>・保護者の数値をさらに向上させたい。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを充実させ、保護者や地域の方の関心が高まるような情報を迅速に提供する。</li> <li>・気軽に来校できるようにするため、学校公開日を増やす。地域の方にも来校していただくために、案内通知を回覧していただく。</li> <li>・地域に積極的に出かけていく学習活動を展開する。</li> <li>・教職員も積極的に地域行事に参加していく。</li> </ul>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のホームページの更新がはじまり、情報発信に積極性が感じられる。</li> <li>・学校公開日を増やし、地域にも案内通知を回覧する等、開かれた学校づくりに積極性が見られる。</li> </ul>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立栄

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からも高い評価をいただいている。教育活動の充実のために、学校応援団が担う役割は大きい。今後も学校応援団コーディネーターを中心に、より効果的な活用の方法を検討していく。</li> <li>・地域人材を活用した授業や行事について、保護者や地域に積極的に情報を発信する必要がある。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域の方や学生ボランティアを積極的に活用していく。</li> <li>・学校応援団の活動の様子を、学校便りやホームページに取り上げ、保護者や地域に情報提供する。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各教科領域で地域のボランティアや学生ボランティアを積極的に導入してほしい。</li> <li>・保護者の結果を向上させるために、授業におけるボランティアの活動も情報発信してほしい。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	7	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全対象で昨年度の評価よりも向上している。清掃に対する教職員や児童の意識が高まってきている。きれいな環境が落ち着いた学校をつくり、それが教育活動の充実につながると考える。引き続き、環境美化に努めていきたい。</li> <li>・校地の環境整備は学校応援団の方に大変ご尽力いただいている。</li> <li>・児童の清掃活動への意識を更に高めていく。</li> <li>・掲示教育については、更に充実するよう努める。</li> </ul>
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者、地域と一緒に取り組む環境美化活動を年間計画に位置づける。</li> <li>・清掃部を中心に清掃の手順等、指導の統一と指導の共通実践を図る。</li> <li>・掲示教育計画を見直し、環境美化を推進していく。</li> </ul>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校地内は学校応援団の環境整備によって美化されている。</li> <li>・清掃指導を重点にして全体での取り組みを進めてほしい。校舎内は清掃部を中心に用具の確認や手順の共通理解、共通実践を徹底してほしい。</li> </ul>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	